

シリーズ 行財政改革 ③



企画防災課行財政改革推進室 ☎ 74-3004

第3回は、「スリムな町役場の実現」です。今回は、人件費を減らすための取り組みについてお知らせします。

職員数の削減

平成18年度(4/1) : 184人



人員削減率
17.4%
(△32人削減)

平成22年度(3/31) : 152人



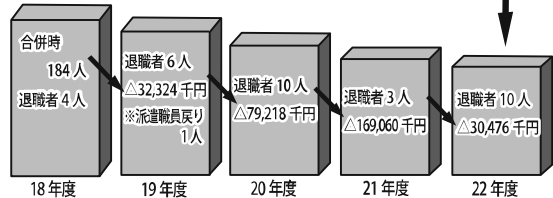
職員削減の効果額

行財政改革のスタート以降も、国の制度改革に伴う新たな事務事業の開始などにより、役場はより多くの使命を担ってきました。そんな中で、町民サービスを低下させず、いかに効率的な行政運営を実現させるかを念頭に、組織改革、事務・事業の見直し、民間委託等の推進を図りながら職員数の削減を行ってきました。

この結果、洞爺湖町がスタートした平成18年度対比で約17.4%の職員削減率を達成しました。これは、「洞爺湖町職員定数管理計画」における削減率を上回るものとなっています。

効果額は、前年度の削減人数が翌年度に反映されたものです。

効果額は、前年度の削減人数が翌年度に反映されたものです



人件費の削減（給与の独自削減）

区分	19年度	20年度	21年度	22年度	総額
給与の独自削減(千円)	△129,281	△144,931	△125,694	△161,843	△561,749

ラスパイレース指数などの状況

◇ラスパイレース指数(平成22年4月1日現在)

洞爺湖町	洞爺湖町職員の給与は、独自削減によって国家公務員を100として比較すると左の数字となっています。これは、北海道内の町村中(144町村)、下から3番目、また全国の町村中(1,731町村)、下から30番目に低率です。
85.8	

*「ラスパイレース指数」とは、国家公務員と地方公務員の給与水準を比較するため、広く用いられている指数で、地方公共団体の一般行政職の給料額と国の職員の俸給額とを、学歴、経験年数別に対比させて比較し、算出したもので、国を100として計算したものです。

今後の定数管理(洞爺湖町職員定数管理計画)

今後も事務・事業の効率化や組織改編などを計画的に進め、適正な職員定数管理を図りながら、よりスリムな役場を目指していきます。

165人(平成21年4月1日)

34名の削減 20.6%削減

131人(平成32年4月1日)

